



平成26年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年3月12日

上場会社名 株式会社 山王 上場取引所 東
 コード番号 3441 URL <http://www.sanno.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 甲山 文成
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 鈴木 啓治 TEL 045-542-8241
 四半期報告書提出予定日 平成26年3月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年7月期第2四半期の連結業績（平成25年8月1日～平成26年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年7月期第2四半期	3,708	△3.9	△13	—	△16	—	△35	—
25年7月期第2四半期	3,859	0.2	3	△98.4	21	△91.0	19	△96.8

(注) 包括利益 26年7月期第2四半期 193百万円 (△19.3%) 25年7月期第2四半期 241百万円 (△51.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年7月期第2四半期	△7.79	—
25年7月期第2四半期	3.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年7月期第2四半期	10,220	6,580	64.4	1,425.53
25年7月期	10,208	6,386	62.6	1,356.22

(参考) 自己資本 26年7月期第2四半期 6,580百万円 25年7月期 6,386百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年7月期	—	0.00	—	—	—
26年7月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年7月期の連結業績予想（平成25年8月1日～平成26年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,200	2.9	100	—	60	—	30	—	6.50

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年7月期2Q	5,000,000株	25年7月期	5,000,000株
② 期末自己株式数	26年7月期2Q	384,050株	25年7月期	384,050株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年7月期2Q	4,615,950株	25年7月期2Q	4,818,950株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間における世界経済におきましては、欧州経済は長期化する緊縮財政の影響から景気の低迷が続いており、中国などの新興国経済も内需や輸出の伸び悩みから、景気減速懸念が高まりました。

米国経済は住宅市場の改善などを背景に緩やかな景気回復基調が見られるものの、その足取りは依然として力強さを欠いており、世界景気は依然として不安定な状況が続いております。

わが国経済におきましては、政府の経済政策による期待感に加え、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要など、個人消費に明るい兆しも見られるようになりました。

当社グループが属する電子工業界におきましては、これまで需要低迷が長期化していた薄型テレビやパソコン等のデジタル家電市場や前期第3四半期以降の急激な生産調整により減少したスマートフォン、タブレット型端末等のIT機器市場においても、需要の回復が見られるものの、製品価格は下落傾向にあり、総じて厳しい事業環境となりました。

このような状況のもとで当社グループは、管理業務の大幅な見直しと適正人員による効率性の追求を行い、業績の回復に努めましたが、中国市場の環境悪化を補うには至りませんでした。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,708百万円（前年同期比3.9%減）となりました。また、営業損失は13百万円（前年同期は営業利益3百万円）、経常損失は16百万円（前年同期は経常利益21百万円）、四半期純損失は35百万円（前年同期は四半期純利益19百万円）となりました。

なお、セグメント毎の業績は次のとおりであります。

① 日本

当第2四半期連結累計期間は、これまで需要低迷が長期化していた薄型テレビやパソコン等のデジタル家電市場や前期第3四半期以降の急激な生産調整により減少したスマートフォン、タブレット型端末等のIT機器市場においても、部品需要の回復が見られたことに加え、管理業務の大幅な見直しと適正人員による効率性の追求に努めました。

この結果、売上高は2,290百万円（前年同期比3.7%減）、営業利益は45百万円（前年同期は営業損失32百万円）となりました。

② 中国

当第2四半期連結累計期間は、主要取引先の内製化に対し、安定した収益基盤を確立すべく、車載部品の新規案件獲得をはじめ、プレス・めっき一貫加工体制の整備を行うなど、顧客満足度の向上に努めたものの、本格的な受注回復には至りませんでした。

この結果、売上高は894百万円（前年同期比19.2%減）、営業損失は149百万円（前年同期は営業利益1百万円）となりました。

③ フィリピン

当第2四半期連結累計期間は、汎用品を中心に安定した受注があったことに加え、主材料費低減活動について取り組み強化を推し進めることで、安定した収益基盤の確立と収益性アップに努めました。

この結果、売上高は526百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益は9百万円（前年同期は営業損失51百万円）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金が350百万円増加したものの、現金及び預金が327百万円減少したことなどにより、10,220百万円となり前連結会計年度末とおおむね同水準（前連結会計年度末は10,208百万円）となりました。負債は、1年内返済長期借入金が75百万円減少し、また長期借入金が62百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比べ182百万円減少の3,640百万円となりました。また、純資産は、為替換算調整勘定が167百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べ193百万円増加の6,580百万円となりました。この結果、自己資本比率は64.4%となり、前連結会計年度末比1.8%増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成25年9月11日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,553,641	3,226,363
受取手形及び売掛金	1,900,365	2,250,512
製品	65,176	102,276
原材料及び貯蔵品	1,248,976	1,203,638
その他	163,422	108,076
貸倒引当金	△1,250	△1,250
流動資産合計	6,930,332	6,889,617
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	477,608	491,658
機械装置及び運搬具（純額）	659,783	625,343
土地	1,429,793	1,429,793
その他（純額）	174,415	210,651
有形固定資産合計	2,741,601	2,757,448
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	270,649	366,187
繰延税金資産	1,738	345
その他	196,596	141,735
貸倒引当金	△6,606	△6,606
投資その他の資産合計	462,378	501,661
固定資産合計	3,278,509	3,330,989
資産合計	10,208,841	10,220,607

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	252,302	346,912
短期借入金	1,735,375	1,828,810
1年内返済予定の長期借入金	212,984	137,984
1年内償還予定の社債	60,000	30,000
リース債務	119,948	51,513
未払法人税等	8,299	8,412
事業構造改善引当金	49,645	—
その他	386,479	356,241
流動負債合計	2,825,034	2,759,873
固定負債		
長期借入金	534,317	471,575
リース債務	79,124	65,154
退職給付引当金	222,356	189,740
役員退職慰労引当金	128,958	98,458
その他	32,734	55,609
固定負債合計	997,490	880,536
負債合計	3,822,524	3,640,410
純資産の部		
株主資本		
資本金	962,200	962,200
資本剰余金	870,620	870,620
利益剰余金	4,444,421	4,408,449
自己株式	△125,103	△125,103
株主資本合計	6,152,138	6,116,165
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,624	89,193
為替換算調整勘定	207,554	374,837
その他の包括利益累計額合計	234,178	464,031
純資産合計	6,386,317	6,580,196
負債純資産合計	10,208,841	10,220,607

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年8月1日 至 平成25年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年8月1日 至 平成26年1月31日)
売上高	3,859,780	3,708,646
売上原価	3,174,981	3,103,700
売上総利益	684,799	604,946
販売費及び一般管理費	681,548	618,258
営業利益又は営業損失(△)	3,250	△13,312
営業外収益		
受取利息	9,872	12,147
受取配当金	967	1,873
その他	39,370	15,307
営業外収益合計	50,209	29,328
営業外費用		
支払利息	19,761	18,024
保険解約損	—	7,628
その他	12,582	6,445
営業外費用合計	32,343	32,098
経常利益又は経常損失(△)	21,117	△16,081
特別利益		
固定資産売却益	12,175	—
特別利益合計	12,175	—
特別損失		
固定資産除却損	159	—
減損損失	—	1,226
事業構造改善費用	—	1,697
役員退職慰労金	9,550	—
特別損失合計	9,709	2,924
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	23,582	△19,006
法人税、住民税及び事業税	4,186	15,707
法人税等調整額	166	1,259
法人税等合計	4,353	16,966
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	19,229	△35,972
四半期純利益又は四半期純損失(△)	19,229	△35,972

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年8月1日 至平成25年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年8月1日 至平成26年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	19,229	△35,972
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,650	62,568
為替換算調整勘定	206,584	167,283
その他の包括利益合計	222,235	229,852
四半期包括利益	241,464	193,879
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	241,464	193,879

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年8月1日 至平成25年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年8月1日 至平成26年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	23,582	△19,006
減価償却費	134,187	140,658
減損損失	—	1,226
貸倒引当金の増減額(△は減少)	288	—
事業構造改善引当金の増減額(△は減少)	—	△49,645
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,950	△32,739
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△18,900	△30,500
受取利息及び受取配当金	△9,872	△14,021
支払利息	19,761	18,024
為替差損益(△は益)	△2,617	△5,041
保険解約損益(△は益)	—	5,776
固定資産除売却損益(△は益)	△12,015	—
売上債権の増減額(△は増加)	15,537	△306,581
たな卸資産の増減額(△は増加)	△32,272	31,856
仕入債務の増減額(△は減少)	84,095	67,006
その他	△146,265	13,116
小計	53,558	△179,870
利息及び配当金の受取額	9,722	14,669
利息の支払額	△16,750	△18,116
保険金の受取額	—	53,887
法人税等の支払額	△16,291	△18,002
営業活動によるキャッシュ・フロー	30,238	△147,432
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△291,180	△308,180
定期預金の払戻による収入	291,180	275,740
有形固定資産の取得による支出	△119,386	△62,269
有形固定資産の売却による収入	10,500	—
無形固定資産の取得による支出	△2,993	△409
投資有価証券の取得による支出	△8,474	△9,137
その他	1,529	3,990
投資活動によるキャッシュ・フロー	△118,825	△100,265
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	9,316	93,435
長期借入れによる収入	550,000	—
長期借入金の返済による支出	△99,057	△137,742
社債の償還による支出	△156,000	△30,000
リース債務の返済による支出	△57,322	△82,406
セール・アンド・リースバック取引による収入	17,314	—
配当金の支払額	△28,407	—
その他	△5,250	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	230,594	△156,713
現金及び現金同等物に係る換算差額	24,791	14,653
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	166,798	△389,757
現金及び現金同等物の期首残高	2,885,761	3,136,369
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,052,560	2,746,611

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。